

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第88号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F
TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194
Email: iguren@kanagawa-iguren.com
http://www.kanagawa-iguren.com

KANAX (神奈川県研究交流推進協議会) の解散について

芝 忠

この3月末で、神奈川県研究交流推進協議会 (KANAX) が解散します。本協議会は1991年に設立され、当異グ連も団体加盟しています。事務局は神奈川県庁の政策部にある科学技術・大学連携室にあり、設立19年で幕を下ろすというもの。全国有数の研究機関の集積地域である神奈川県で、**科学技術の振興のため研究機関や個人の参加により、相互交流や知的資源の集積効果を狙ったもの**でした。

しかし海老名の県産業技術センター内にある「神奈川県産業技術交流協会(神産協)」の前身の「神奈川県研究機関連絡会(神研連)」は、当時事務局を工業試験所において同様な目的で活動していました。言ってみれば県自身が「屋上屋を架す」機構を作ったわけです。確かに神研連は「工業系」が中心であり、農業や衛生分野など幅広いものではありませんでしたが、民間の研究機関が多数加盟しており、明らかに事業の競合が起きました。しかし本庁直轄で長洲知事の意をより強く反映させる組織として期待されていたと思います。見学会やニュースの発行など、事業回数の頻度は神研連を上回っていたかも知れません。県庁のテコ入れも相当なものだったと思います。こうした団体の解散は単に財政的な理由だけでなく、行政側の手詰まり、科学技術振興政策が壁にぶつかったものとして考えざるを得ません。理由の一つに挙げられている産学連携を促進する組織が多数存在するというのも分からないわけではありません。競合することもあるかと思いますが、しかし「**人脈をベースにした連携(ネットワーク)は一朝一夕には構築出来ないものであり、20年近い歴史のある当協議会の役割はまだまだ可能性があったと考えますが**」、解散する際の常套文句として「役割が終わった」「同種の組織が増加」などの言葉が思い当たります。

私どもが推進している中小企業の人材確保政策について、大学側への訪問で判明したことは「就職部」でも「産学連携部門」でも考えていなかった分野で、穴場の活動でした。就職部は大企業指向ですし、産学連携部門は共同研究が中心で研究室での学生との関わりが薄いことです。従って何でもかんでも産学連携組織がやれるわけではなく、それぞれの持ち味や工夫を生かした取組が必要です。世の中の動向を見ると、必要がある分野、例えば産学連携を推進する組織が次々に増加してきます。異業種連携の組織も同じです。企業行動も同じです。良いとなれば後発組が出現します。一つしか存在しないときは何をやっても重宝がられますが、複数のサービス機能が出現すれば「選択」の事態となります。競争の世界になります。知恵の発揮比べというわけです。

県庁の科学技術政策が今後どのように展開されるのか不明ですが、県の肝入りで結成された団体だけにその帰趨は少なからず波紋を拓げるものと思われま。提案されている同種の機関、例えば溝の口のKSPにある「科学技術アカデミー (KAST)」や、海老名の神産協がフットワーク良く機能するのはいかがでしょうか注視したいと思います。われわれ自身も、心して活動を展開しなければならないと改めて痛感しました。

産学官交流サロンのコーナー

第25回西湘サロンの開催案内

日時：2010年03月08日(月) 18:00~20:00 場所：あいおい損保小田原支社(瀬戸ビル) 3F
話題：テーマ：「**わが社の経営戦略**」 株式会社 TTC専務 三嶋俊行氏

TTCグループはお客様感動創造主義で、観光土産品・特産物のトータルプロデュース実現のため、商品企画力、開発力の強化で、オリジナルブランドを創造し、その育成に力を入れています。

参加費：1000円(ビール、おつまみ付) 申込：島津、吉池、芝 045-633-5142 fax045-633-5194

おなじみ尾上町サロン (ぶらり参加大歓迎!!)

日時：原則第一・三金曜日(02月19日、03月05日、03月19日) 17:15~19:30

会場：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所 話題：自由に持ちより(テーマの事前予約OK)

会費：1000円(現物も大歓迎) 問合せ：芝、八幡、鈴木 045-633-5142 fax045-633-5194

第 2 4 回 (1 月 1 8 日) 西湘サロンの報告

吉池正樹 BC

今回は NPO 法人日本 TRIZ 協会副理事長で、株式会社創造性工学研究所代表取締役の三原祐治氏に、「**最高の解決案を短時間で手に入れる方法—TRIZ/USIT**」とのテーマで、問題解決法について話をさせていただきました。氏は話の冒頭「皆さん！魚の絵をかいてみてください」と、そして「どちら向きの絵を描きました？」そうです。参加者のほとんどが左向きの魚の絵を描いたのです。人間にはこのような思い込みやこだわりなどがあり、これが問題の解決を妨げているそうです。この問題解決法は問題を抽象化し「**TRIZ の方法**」にあてはめ、抽象化された解を得て、これを具体化するのだそうです。少々わかりにくいのですが、欧米の Intel、NASA、PHILIPS、HP、P&G、など優良企業が利用しており、特に最近三星電子（韓国）が大きな成果を上げています。世界の先進企業と互角に渡り合うにはこの手法が必要とのことです。

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

シフト 2 1 【<http://www.shift21.jp/>】 有村知里 BC

2 月定例会は、風呂敷コンシェルジュのつつみ純子氏に『**温故知新の風呂敷講座**』というテーマで、風呂敷の歴史などのお話に加えて、ワークショップにおいて基本の箱のお包み・慶弔のお包み・ボトル包みなどを体験しました。生活だけでなくビジネスシーンでも大いに使えたと大好評の講座でした。

3 月定例会は、「**中小企業施策の方向性について**」というテーマで水戸まさし参議院議員（民主党・神奈川選出）にお話をいただきます。**(3 月 9 日 (火) 18 時 30 分～)** かながわ県民センター) 詳細は右の記事

シフト 2 1 は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会を開催しております。

(原則第二火曜日開催) ゲストの皆様の参加を歓迎しております (初回参加は無料)。

お問合せは有村まで。arimura-c@nifty.com

政権交代後の中小企業施策の方向性 (シフト 21)

日 時: 3 月 9 日 (火) 18 時 30 分～20 時 15 分

場 所: かながわ県民センター 403 号室

テーマ: 「中小企業施策の方向性について」

講 師: 神奈川選出・民主党 水戸まさし参議院議員

<http://kickoff310.weblogs.jp/>

定 員: 40 名 (参加無料)

※終了後 (20 時 30 分～) 懇親会を行います。水戸議員も参加予定です。実費 (3,000 円程度)

景気の低迷、不透明な将来、環境変化が著しい中で中小企業施策は、どうなっていくのか、どうして欲しいのか、伝える場、話し合う場を企画しました。

一方的に話を聞くだけでなく、ディスカッションもしてみたいと考えています。企業経営に携わる皆様に参加いただき、私たちの声も中央に届けたいと思います。ご参加をお待ちしております。

お問合せ: 異業種交流会シフト 2 1 事務局 有村まで。arimura-c@nifty.com TEL 045-508-6433

第 1 0 3 回日韓ビジネス協議会・報告

高橋導徳 BC

1 0 3 回例会は新年会を兼ねて、1 月 2 0 日 (水)、盛会裏に開催しました。

講演テーマ: 「韓国部品素材専用工団視察ツアー報告」・ (財) 日韓産業技術協力財団 部長 北林 均氏

李大統領提唱による日本企業の韓国部品素材専用工団への投資促進を目的としている。また韓国部品素材専用工団の投資環境の実態と改善状況への日本企業の理解を深めることで、対韓投資の動機付けを促す第 1 回訪韓ミッションである。

釜山、鎮海、亀尾、浦項の 4 地区を中心に視察を実施した。参加日本企業は 2 3 社、参加者は 2 7 名。

その他日本ソウルクラブの関連資料の紹介もされた。

.....

第 1 0 4 回日韓ビジネス協議会定例会開催案内

高橋導徳 BC

日 時: 2 0 1 0 年 0 2 月 2 4 日 (水) 協議会 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 1 5 懇親会 1 7 : 1 5 ~ 1 8 : 1 5

場 所: 神奈川中小企業センタービル 5 階会議室

内 容: 会社紹介

(株)クオリティワールド 代表取締役 李 情丹氏 「医療用物質生成器の販売及びレンタル」

(株)アクティブブリッジ コンサルタント 池邊正一郎氏 「ベトナム関連の企業・産業の活性化」

(株)ハンネット 代表取締役 韓 金淑氏 「IT 関連」

「日本で会社設立してから 9 年間、日本のビジネスと日本の文化は！」

講演: テーマ: 「**戦略的目標設定と、その達成技法**」 アチーブメント(株) コンサルタント 川原卓巳氏

関心がある企業の参加者を歓迎致します。申込先: T/F045-311-0094 高橋迄 mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

まんてんプロジェクト

千田泰弘BC

- 1月5日、国家ビジョン研究会が鳩山首相に、わが国直面する重要政策課題に関して有識者の意見を集約した「日本再生プラン」を説明したが、その中にわが国の製造業の明日を活性化するために航空機産業の振興が謳われている。
- 1月21日、第五回航空機部品国産化研究会が早稲田大学にて開催された。今回は国内だけでなくカナダケベック州、米国ミシシッピ州の在日代表も出席した。研究会は今後具体的なテーマに絞り込んで研究を進めることとなった。また海外との連携も深めていくこととなった。
- 早稲田大学産学連携レビュー2010（2010年2月発行）**に、**JASPA株式会社千田取締役の「航空機産業の世界動向と行政機関の対応」**という論文が掲載された。

JICA 南アジア中小企業振興研修

加藤文男BC

JICA 横浜から当神奈川県異グ連への受託事業「**南アジア中小企業振興**」は**2月15日から2週間実施**することが決定いたしました。今回の研修生は、**インド、スリランカ、モルディブ、ネパール、ブータン、パキスタン、バングラデシュの南アジア7カ国**から中小企業施策を立案、制定、実行する政府関係の方々と商工会議所の事務局長など全部で8名の方々が予定されております。

今回は、中小企業振興をテーマとしており、日本の中小企業支援機関や日本の中小企業施策の変遷などの講義に加えて、**神奈川県産業振興センターや川崎市等々カ工業会の企業の視察**をいたします。更に大企業も加えて欲しいとのご要望もあり、広く海外で活躍する**株式会社小松製作所の研究所も視察見学**させていただくことになりました。

また、神奈川県内の施設や企業だけでなく、**花巻市起業化支援センター、北上市基盤技術支援センター**など岩手県の中小企業支援機関と中小企業の視察を計画しました。最終日の土曜日には、岩手県の道の駅、地場物産展会場の視察と共に中尊寺の観光も計画に組み入れ日本文化の理解に役立てていただく予定です。

イベント報告や投稿など

テクニカルショウが終わって

魚崎BC（C&S 会長）

2月5日にパシフィコ横浜で開かれていた第31回テクニカルショウ横浜2010が盛会裏に無事終了した。神奈川県下の中小企業者にとっては、近場で全国的なイベントが、出来るテクニカルショウは貴重な存在であったと思う。実際は、小生の不勉強もあるが、31年もたっているのかとか、異グ連もC&Sグループも毎年この時期になると、会員の仕事の関係で十分な動員が出来ず、正直のところ積極的な活動になっていなかった。

ところが期間中の4日に開かれた異グ連の理事会で異グ連はこのテクニカルショウを一つの機会に発足したという歴史を聞かされ、思いを新たにすることになったのである。当初、神産貿（現在神奈川県産業振興センターの部局）が産業貿易センタービル（パスポートを発行するビル）の1階で昭和50年代末、初めてテクニカルショウが開かれた。最初は大手企業主体であったのを中小企業にも有効な機会にすることが提案され、昭和59年に異グ連が結成され参加したのであった。

テクニカルショウは、異グ連の生みの親であるということ聞かされ、テクニカルショウはマンネリであるとか、負担であるとかより、どちらかという技術偏重に見えるテクニカルショウを、中小製造業の経営改善とか、起業の場に発展させる機会にするなり、前向きに取り組まないといけないのではないかと思いを新たに。会員の事業自身が大変な時期に、思いだけ変わってもすぐには実行できそうにも見えないが、会員の英知を借りて何とか頑張りたいと思う。

従業員満足は顧客満足に通ず

川崎異業種研究会理事・角南英八郎

2月4日にベンチャーフェア Japan2010に参加して講演に感激したので報告します。

（財）日本生産性本部サービス産業生産性協議会主催で「**ハイサービス日本300選**」に選ばれた「**四国管財株**」という高知のビルメンテナンス、清掃管理業務、病院サポート業務の会社が、「**お客様に笑顔と挨拶と報連相と環境を意識した丁寧な仕事の実践**」を経営理念として、十数年前まで従業員が胸を張って社名を第3者に言えなかった会社を「**笑顔が素敵でイキイキお仕事をされている方が多いですね。**」と言われるようにした経過を話してくれました。内容を説明できませんが、一口で言うなら、**経営理念**を掲げ、「**会社ベーシック**」を設定し、**全員に「私の夢」**を書いてもらい、代表への**報連相のルート**を増やし、**クレームを「ラッキーコール」と名付け受け取り、全てのクレームの原因は代表にあるとして対応する。**

というものでした。**従業員満足により高い顧客満足を実現する**というものでした。

お知らせ等

<p>神奈川県中小企業活性化推進月間行事</p> <p>かながわ商工会議所フォーラム (無料)</p> <p>第一部基調講演「日本経済の行方と中小企業」 早稲田大学大学院教授 野口悠紀雄氏</p> <p>第二部商工会議所力の発信「キーワード “連携”」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CACCI と APEC 中小企業サミットの取り組み 横浜 ・地域力連携拠点事業における支援手法 相模原 ・広域連携事業 “きぎょう情報交換会” 藤沢 ・湘南ひらつかテクノフェア 平塚 ・B-1 グラブリを中心としたにぎわいの創出 厚木 <p>日時：H22年02月23日(火) 13:30～16:30 場所：あーすぷらざホール（県立地球市民かながわプラザ） J 根岸線 or 京浜東北線・本郷駅駅前 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1 045-896-2626</p> <p>申込み問合せ： (社)神奈川県商工会議所連合会企画課 045-671-7481 kenren@kanagawa-cci.or.jp</p>	<p>神奈川県中小企業活性化推進月間行事 (無料)</p> <p>企業のBCP (事業継続計画) 普及啓発セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地震が起きてあなたの会社は倒産しませんか？ ・インフルエンザの流行で出勤可能な従業員が大幅に減っても納品期限を守れますか？ <p>第一部共通テーマ 県内企業等の事業継続計画の取り組み状況と必要性 (株)浜銀総研・調査部副部長 江嶋哲也氏</p> <p><日時> <開催場所></p> <p>2月15日 14:00～17:00 川崎商工会議所 5階講堂済 2月22日 13:30～16:15 平塚商工会議所 2階会議室 第二部事例発表「日本ユニシス(株)BCP 推進部長」</p> <p>2月25日 13:30～16:15 相模原市立産業会館 第二部事例発表「三菱自動車工業(株)管理本部」</p> <p>3月19日 14:00～16:45 厚木商工会議所 5階会議室 第二部事例発表「(株)リケン営業管理部 BCP 室長」</p> <p>申込み問合せ：(株)浜銀総研 045-680-2880</p>
--	---

補助金・助成金【SBIR制度説明・無料相談会】

制度を上手に活用するために無料説明・相談会を開催いたします。説明会では本年度の制度説明や申請書の書き方に重点を置き、事例を多数盛り込んだ内容です。個別に行なわれる相談会では様々な補助金・助成金等の中から具体的に取得可能な制度を一緒に検討します。

- 日時：H22年02月23日(火) 13:30～(説明会)、15:30～(個別相談会)
- 場所：神奈川中小企業センタービル6階(大研修室) ●申込み期限：開催日前日まで
- 内容：中小企業技術革新(SBIR)制度の概要説明や申請書の書き方 及び個別相談会
- 申込み・お問い合わせ：(社)日本技術士会神奈川県技術士会 TEL 045(210)0337 kcea@k06.itscom.net
<http://www.e-kcea.org/p/sbir/index.htm>

メコン地域におけるビジネス環境と事業展開

比較的に世界経済危機の影響を受けていないメコン流域5カ国(カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナム)でのビジネス環境についてのセミナーです。とくにあまり一般には知見の少ないカンボジア、ラオス、ミャンマーについて最新の情報を提供します。

日時：H22年2月23日(火) 15:00～16:30
場所：川崎商工会議所 5階講堂 参加費：無料
講演：「メコン地域におけるビジネス環境と事業展開」
メコン新事業研究会・代表 井下 修氏
申込み問合せ：川崎商工会議所地域産業部国際課
TEL 044-211-4113 sangyo@kawasaki-cci.or.jp

県立川崎図書館ビジネス支援トーク

創業入門講座(無料)

日時：H22年2月27日(土) 14:00～16:00
第一部：失敗から学ぶ「創業・新規ビジネスのコツ」
(株)サンクレザン社長 成瀬 隆氏
第二部：基礎から学ぶ
「開業手続きとマーケティング戦略」
中小企業診断士 小池登志男氏
場所：神奈川県立川崎図書館
申込み問合せ：神奈川県立川崎図書館
川崎市川崎区富士見2-1-4 TEL044-233-4537
<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/>

事務局のコーナー

神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】村上 嘉男 【火】八幡 敬和 児玉 英二 【水】(芝 忠) 杉本 明子
【木】松井 利夫 【金】①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局
T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL：<http://www.kanagawa-iguren.com> Mail：iguren@kanagawa-iguren.com

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。
神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ!